



Forest School

地域のもりから学ぶ森林づくり2014 定山溪もりづくり発表会

〔今年度、定山溪小・中学校の皆さんを対象に国有林内で4回の森林教室を開催しました。その内容を地元の皆様にお知らせします。〕

と き：平成27年2月25日（水）13時50分～15時30分
と ころ：定山溪中学校（札幌市南区定山溪温泉西1-31）

主催：北海道森林管理局 石狩地域森林ふれあい推進センター

協力：定山溪中学校

地域のもりから学ぶ森林づくり2014 定山溪もりづくり発表会プログラム

***** 開会式 *****

13:50~14:00



・森林教室で行ったこと

14:00~14:10

石狩地域森林ふれあい推進センター所長 渡 辺 洋 之

今年は、5月から9月にかけて4回の森林教室を開催しました。実施した森林教室の内容などを報告します。



・もりづくりのあゆみ

・研究発表

14:10~14:30

札幌市立定山溪中学校生徒の皆さん

これまで森林教室や校外学習、理科や社会のフィールドワークで学んだことを円山動物園や青少年科学館、エルプラザなどで発表してきました。それらの内容を整理して発表します。また5年前から調査を続けてきた定山溪の野生動物や地表性昆虫類について、今年度の中文連で発表した内容を報告します。

***** 休憩 *****

14:30~14:45



・特別講話 「定山溪の森林と水」

14:45~15:25

北海道大学総合博物館 資料部研究員 春木 雅寛 氏

札幌の降水量はこの5年間で見ると年1,300mmくらいですが、このうち11月から3月までが4割を占めます。森林ができると風で飛ばないように雪を溜（た）め、6月くらいまで徐々に融けて川の水に入ります。樹木の根は深さ60cm位の深さまでしか入っていません。水滴はこの深さまでゆっくりと浸（し）み込んだ後つながり、流れになります。平地でなく定山溪の山が起伏（きふく）の多い斜面であることも大事な要素ですね。このような森林と水、土のかかわりについてお話ししたいと思います。

***** 閉会式 *****

15:25~15:30